

《情報公開文書》

血液透析患者における新型コロナウイルス感染症罹患と筋肉量低下との関連についての検討

研究の概要

【背景】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、発熱、頭痛、咽頭痛などの症状とともに、全身性の炎症や、臥床、味覚障害に伴う食事摂取量の低下などに伴う体重減少や急性の筋肉量減少を引き起こすことが報告されていますが、これまで血液透析患者における報告や他の感染症に起因する筋肉量低下との比較を行った報告はありません。

【目的】そこで、今回われわれは、血液透析患者における COVID-19 罹患と急性の筋肉量低下との関連を明らかにするために、COVID-19 罹患前後の筋肉量の推移を通常の診療で行っている血液検査結果から後ろ向きに検討するとともに、他の感染症（インフルエンザウイルス感染症、細菌性肺炎）罹患に伴う筋肉量低下との比較検討を行います。

【意義】本研究により、血液透析患者における COVID-19 罹患と急性の筋肉量低下との関連が明らかになった場合、筋肉量低下を予防するための方策・介入が可能となり、予後改善へつながる可能性があります。

【方法】この研究はあなたの診療経過（治療内容や検査結果等）から、感染症（COVID-19、インフルエンザ、肺炎）罹患と罹患前後の筋肉量の変化に関係があるかを後ろ向きに調査します。すでに通常の診療として実施終了している検査結果から解析を行うのみで、この研究のために追加して行う検査などはありません。

対象となる患者さん

- ・2017年1月～2023年12月までの間に、千住病院外来透析通院中で、COVID-19またはインフルエンザウイルス感染症または細菌性肺炎に罹患した方。
- ・上記感染症罹患前1か月以内に入院歴がある方、本研究の観察期間中に悪性腫瘍に対する治療を行った方は対象となりません。

研究に用いる情報

- 研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。
- ・患者情報：年齢、性別、透析歴、身長、体重（ドライウエイト）、透析条件、透析間の体重増加率、治療後の経過、後遺症・併発症の有無、リハビリ実施の有無、糖尿病の有無、薬剤使用歴
 - ・感染症罹患時の情報：入院期間、感染症に対する治療内容、重症度、ウイルス型
 - ・臨床検査：%クレアチニン産生速度（%CGR）、modified creatinine index (mCI)、標準化蛋白異化率（normalized protein catabolism rate: nPCR）、CRP、血清アルブミン、中性脂肪、HDL、LDL、血清クレアチニン、カリウム、リン、ヘモグロビン
 - ・画像検査：胸部単純レントゲン写真（心胸比）
- 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は2024年4月1日（病院長の許可日）より「研究に用いる情報」を利用する予定です	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2024年12月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：千住病院 腎臓内科・人工透析内科 氏名：小畑 陽子 住所：佐世保市宮地町5-5 電話：0956-24-1010
情報の管理責任者	千住病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 千住病院 腎臓内科・人工透析内科 小畑 陽子・西川 泰彦 〒857-0026 佐世保市宮地町5-5 電話：0956-24-1010 FAX 0956-24-8590	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 患者相談窓口：0956-24-1010 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）	